



# ADRC Highlights

Vol.31

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

September 3, 2001

## ユニーク ID プロジェクトの推進

8月13-14日にベルギーのブリュッセルで、ルーヴァン・カトリック大学のCRED (Centre for Research on the Epidemiology of Disasters) の呼びかけによる会議「A Unique Disaster Identifier Number (UDIDN) for a single disaster event」がありました。この会議には、CRED、ADRC の他に、ReliefWeb、FAO、WorldBank、OFDA/USAID が参加し、2日間密度の濃いディスカッションを繰り返しました。この会議で検討した内容は、今年3月にGDINのキャンベラ会議でADRCの村田元主任研究員が提案したユニーク ID ナンバープロジェクトの具体的な推進に関するもので、特に UDIDN のフォーマット、新しい番号の生成と通知手順、プロジェクト実施のための各組織の役割分担について議論しました。

まず、UDIDN のフォーマットについては、二種類の提案がなされました。一つは、これまで CRED が過去 100 年間の災害データベースに採用していた年号(4桁)+一連番号(4桁)に災害種類(2桁)を追加したもので、「年号-災害種類-一連番号」で表記されるものです。災害種類の詳細については下記をご覧ください。例えば、「2001-FL-1011」は、2001年に発生した1011番目の洪水による災害を表しています。もう一つの提案は、これまで CRED が使用していた番号を踏襲するもので、上で示した災害の例では、「2001-1011」となります。

次に、新しい UDIDN の生成と通知手順は以下の通りです。

1. 災害発生後、ReliefWebは新しいUDIDNを生成し、CREDにe-mailで通知する
  2. 1以外の災害について、CREDが1週間以内にUDIDNを生成する。
  3. CREDは1週間分のUDIDNをADRCにe-mailで通知する。
  4. ADRCはHighlightsの配信ルートでUDIDNを各組織に通知する
- そして、プロジェクト実施のための各組織の役割分担です。アジア地域でパイロットプロジェクトを実施することとなりました。

### <ADRC>

1. メンバー国に、パイロットプロジェクトへの協力を呼びかける
2. アジア地域で発生する災害を監視し、災害が発生した場合はCREDにe-mailで連絡する
3. CREDから新しいUDIDNをe-mailで受け取った後、ADRCの災害情報DBにUDIDNを追加登録する
4. 新しいUDIDN情報をメンバー国に通知する
5. パイロットプロジェクト参加国の各組織はUDIDNをDBに追加登録する

### <CRED>

1. 新しい災害に対してUDIDNを生成し、ADRCへ通知する
2. CREDのホームページを、外部からデータベースにアクセスできるように改定する
3. 災害情報を検索できるサーチエンジンを開発する
4. UDIDNに対応したホームページを作成する

### <ReliefWeb>

1. 新しい災害に対してUDIDNを生成し、CREDへ通知する
2. UDIDNに対応したホームページを作成する

本会議の成果は、9月にジュネーブで開催されるOCHAの会議(Symposium on Best Practices in Humanitarian Information Exchange)でも発表し、UDIDNへの理解と協力を求める予定です。またADRCは、UDIDNの普及のため、災害情報データベースの構築やUDIDN導入に関する技術的情報の提供を行っていきます。どうぞ御気軽にご質問ください。

### <参考：災害種類コード一覧>

干ばつ: DR、地震: EQ、伝染病: EP、異常気温: ET  
虫害: IN、洪水: FL、地すべり: SL、火山活動活発化: VL、  
高波・津波: WV、森林火災: WF、嵐: ST、人災: AC  
(主任研究員 荒木田勝)

## ADRC スタッフ紹介 <主任研究員 青田良介>



スリランカにて

私は、平成10年7月のアジア防災センター開設以来、約3年間センターで勤務しています。兵庫県庁からの出向者ですが、過去に外務省に出向し、オーストラリアに2年間駐在したり、今回はアジア関係の仕事に携わったりと地方公務員としては珍しい経歴かもしれません。しかし、仕事を通して多くのアジアの友人ができたのは私の宝です。同じアジア文化を共有し、災害の話はもちろんのこと、人生観の様なプライベートな事柄まで語り合うこともあります。

センターでは、アジア各国との防災協力プロジェクトや防災研修プログラムなどを担当し、現地にも何回か足を運びました。私が訪問地で痛切に感じるのは、災害に対する脆弱度です。堤防も何もない河川や、オフィスビルのか細い柱、貧困層の劣悪な住宅地などを見ると、ちょっとした自然災害が大被害を招きかねないと感じます。

この3年間を通して、防災力の向上のためには、災害発生時の緊急救援はもとより、その後の復旧、復興、さらには普段からの災害への備えを欠かすことができないこと、また、防災協力のためには、その国の社会的、文化的、経済的要因等を踏まえ、相手方のニーズを十分に理解する必要のあることを学びました。現在、防災に関する専門知識を高めようと今春より大学院に通っています。災害軽減につながるよう、微力ではありますが今後とも努力していこうと思います。

## アジアにおける最新災害

### タイ北部で洪水発生

2001年8月11日、タイ北部を台風が襲い、鉄砲水を引き起こしました。8月14日現在、104人が死亡、約45万人が影響を受けたと報告されています。メディアの報道では、最も被害が大きい地域は、バンコクの北300km、ペチャブン地方のナム・コル村です。

(8/14 国連人道問題調整事務所レポート)

### イラン北部ゴレスタン州で集中豪雨による洪水発生

2001年8月10日、イラン北部ゴレスタン州で集中豪雨による洪水が発生しました。8月22日現在、確認された死者数は214人、行方不明者は188人にのぼっています。被害が大きかったのは、ゴレスタン、ホラサンの両州で合わせて10,000ヘクタールの耕作地が浸水し、住宅4,000戸が浸水、倒壊などの被害を受けました。過去200年で最悪の洪水被害だといわれています。

(8/19 CNN レポート、8/22 国連人道問題調整事務所レポート)

### 大型台風11号の影響で日本各地に大きな被害

大型で強い勢力を持った台風11号は8月20日から日本列島各地に大きな被害を与えました。特に四国、近畿、関東地方で被害が顕著であり、死亡者6名、重傷者9名、軽傷者23名の人的被害に加え、住宅半壊1棟、一部損壊45棟、床上浸水82棟、床下浸水613棟という住宅被害が報告されています。

(8/23 消防庁、8/23 Asahi.com など)

### カンボジアにおける洪水

8月25日、カンボジアでメコン川の氾濫による洪水が発生し、少なくとも35人が死亡しました。被災者数は約56万人に及んでいます。

(8/30 国連人道問題調整事務所レポート)

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料: 無料 / 毎月2回発行(予定)